アジア・アウトリーチ　2017年5月祈祷課題

今月は「レバノン」を覚えてお祈りください

　レバノンは、西アジア・中東に位置する共和制国家。北から東にかけてシリアと、南にイスラエルと隣接し、西は地中海に面している。首都はベイルート。

レバノンの経済・政治・宗教について

　レバノンは中東貿易の中継地として重要なところであった。ところが内戦によって首都のベイルートが壊滅状態になり、主要な貿易や金融や観光業拠点が機能しなくなった。1992 年から回復しはじめたものの、2006 年のイスラエルとの戦争によって、ベイルートは再度爆撃され広い範囲でインフラが破壊された。数多くの戦争にみまわれているなかで、繰り返し建て直されている貿易活動が経済を引っ張っているものの観光業は期待されているほど伸びていない。戦争の危機や多額な負債をかかえた経済がはたして長期的に成長し続けることができるのかは未知数である。

　レバノンは 1919 年にフランスによって領土の統治を委任された。1943 年に独立。当時の政治は 18 もの宗教に関係する指導者たちによって導かれていた。イスラム教、そしてキリスト教人口が代わる代わる増加した。1948 年～1976 年の間に 30 万人ものパレスチナ難民の流入が純粋なレバノン人たちをいらだたせ、結果 1975 年から 1990 年まで内戦が続いた。レバノン南部はイスラエルによって 1982 年～2003 年まで支配されていた。また、2006 年にはヒズボラとの戦いにあったイスラエルが再びこの地を占領し、大きな被害があった。レバノンには絶え間ない政治的な緊張があり、シリアやイラン、そしてサウジアラビアなどが政治や外交に大きく影響し介入している。

　レバノンには信教の自由が認められている。中東の国でイスラム国家を名乗っていない唯一の国だ。レバノンには 18 もの宗教的コミュニティーがある；イスラムのコミュニティーが4つ、イスラムドルーズ派のコミュニティーが一つ、ユダヤ教コミュニティーが一つ、そしてクリスチャンコミュニティーは12もある。

レバノンのその他の情報

面積：10,230 ㎢（日本の約 2.8%）　人口：4,254,483（日本の約 3.3%　2010 年時点）

内戦によって破壊された首都ﾍﾞｲﾙｰﾄ（1978 年）　現在のﾍﾞｲﾙｰﾄ　レバノン杉の木

宗教：

イスラム教	58.96%
キリスト教	31.97%
その他	7.00%
無宗教	2.05%
バハイー教	0.02%

「最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。」　イザヤ 60:22

祈祷課題

未伝部族や民族を覚えて

　イエスによって救われキリスト教に属することは法律では認められているものの、キリスト教以外の文化や宗教から離れてイエスに従うには大きな犠牲を覚悟しなければならない。そのような中でも、キリスト教人口は確実に増加している。

　<u>イスラム(シーア派)に属する人々</u>—レバノンにおいて最も人口増加が早く、影響力が強い民族。彼らの多くは国の南である南ベイルートやベッカー高原に住んでいる。彼らの多くはイランからの支援を受けているヒズボラの政党（神の党）を支持している。シーア派の人々の中にはキリスト教に回心する者が起こされている。キリスト不在の宗教はむなしいものであることを知ることができるように。

　<u>イスラム（スンニ派）に属する人々</u>—レバノン北東に定住している。またベイルート、トリポリ、シドンといった町々にもスンニ派の人々が住んでいる。

　<u>イスラム（ドルーズ派）に属する人々</u>—彼らのコミュニティーの絆はとても強く、組織力が強い。彼らが住んでいる中心地はベイルート東に位置する山地である。彼らが信じているものはイスラム教から枝分かれしたものだ；しかし、彼らの内の約20%しかこの教えを真剣に信じていない。彼らの中からは数百名のクリスチャンがおこされている。ドルーズ派の人がクリスチャンになるといわゆる「隠れた信者」となることが多いが、中には地域教会に属するようになる人々もおり、キリスト信仰をシリアに戻って帰って伝えている。

　<u>パレスチナ人</u>—彼らの多くは悲しみ、貧困そして公民権のはく奪といったことを経験しており、その現状を完全に解決することは難しい。とくに難民キャンプに住む人々の状況が大変だ。彼らの中には福音派のクリスチャンも少数いるが、大多数はイスラム教徒で未伝である。

　<u>貧困や恵みまれない状況にある人々</u>—貧困に苦しむ多くがイスラム教徒である。目や耳が不自由な人、身体的に不自由な人々は、社会から見捨てられていることが多い。この人々に対してはクリスチャンの働き人たちが働いている。貧困や恵まれない状況にある人々に対してキリストの愛を伝える働き手が多くおこされなければならない。